



組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」  
**予防的な生徒指導の充実に向けて**

西部教育局  
 お役立ち情報  
 令和4年11月号

教師と子供との良好な関係づくりは、予防的な生徒指導の観点からも欠かせないものです。本号では、関係性を築くための「コーチング」のスキルを、日々の何気ないやり取りの中に取り入れるためのポイントについてお伝えします。



**「傾聴する」**

**自分の関心より相手の関心を聴く**

「話を聴いてもらいたい人」になっていますか？

【休憩時間の会話（例）】

先生、昨日サッカーの試合があって…



BAD

お～、それよりも宿題出てなかったけど、全部終わったの？



GOOD

お～、どうだった？（へえ～、なるほど～、たしかに！）



**「質問する」**

**質問の内容を積極的（前向き）なものにする**

- ①「否定」より「肯定」を意識した質問をしましょう！
- ②「過去」より「未来」

BAD

- ①「どうしていつも時間に間に合わないの？」  
「これだけ説明したのに何でわからないの？」
- ②「何ですぐにしなかったの？」  
「どうしてこんなことになったのかな？」



GOOD

- ①「時間を守るためには何ができるかな？」  
「早くで説明したけど大体わかったかな？」
- ②「今からできることは何だろう？」  
「これからどうしていきたい？」



**「承認する」**

**目に見えないものを認める**

「YOU・I・WEメッセージ」を意識した声かけをしてみましょう！

★変化や行動や姿勢をほめる

あなたは〇〇だ

「Aさんは計算がとても速くなったね」  
「Bさんはいつも真剣に話をきいてくれるね」



YOUメッセージ

★存在をほめる

あなたが〇〇なのは私にとって〇〇だ

「Cさんの説明がとてもわかりやすくなったから私はきいていて安心です」



Iメッセージ

★組織に貢献していると感じさせる

あなたが〇〇なのは私たちにとって〇〇だ

「Dさんが司会をしてくれるとみんなが発言しやすいですね！」



WEメッセージ

参考：「令和4年度生徒指導基幹研修」(佐藤啓子)講義資料

R4年5月号のお役立ち情報では、子供との関係性を築くうえで大切な「みる・きく・認める」についてお伝えしています。右のQRコードから御覧になれますので、ぜひ参考にしてください。

